

# アレッポの暴徒が一掃され、主流メディアの偽ニュースが はびこる

【訳者注】 Moon of Alabama は、専門的な軍事知識と、戦争の現場に詳しい分析家で、いかにして“フェイク・ニュース”が生まれるかを、アレッポ戦と中国機について説明している。アレッポについては、国連そのものが中立を装いながら、親米であり、その発表を各メディアがこぞって、完全に、反シリア（ロシア）・親米の立場で勝手に解釈している。

中国についての情報も、完全に統一された、誇大妄想的な中国悪者論に基づいて、各メディアが書いている。が、論者の専門的分析が見事にこれを破っている。

我々がこういう偽報道（特に後者）を見抜くのは非常に難しい。このような記事によって勉強するほかはない。少なくとも、「これだけ多くのメディアが同じことを言うのだから…」という判断が成り立たないことが、ここからわかる。

Moon of Alabama

December 14, 2016, Information Clearing House



私は、きょうほど「フェイク・ニュース」の大攻勢を経験したことは、今までにない。あらゆる主流メディアや機関が、東アレッポの解放に関して、どんな風説による主張であろうと勝手に報道しているようにみえる。

BBCのこの見出しと書き出しを考えてみていただきたい——

アレッポの戦い：国連は82人の市民がその場で射殺されたと報道

<http://www.bbc.com/news/world-middle-east-38301629>

シリア政府軍は東アレッポの人家に押し入り、中にいた、女性や子供を含む人々を殺していると言っていると国連は報道している。

国連の人権オフィスは、4つの地区で、82人が射殺された確かな目撃証言があると報じた。

1. 国連人権オフィスというものは存在しない。BBCが言っているのは、国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）のことである。その弁務官は、ヨルダンの Zeid Ra'ad Al Hussein 大公であり、彼は英米両国で教育を受けたハシミテ王国の人で、ヨルダンの独裁王の親戚でもある。ヨルダンは、シリア政府に敵対する“反乱軍”（暴徒）の援助に深く関わっているため、これを言う必要がある。

<http://www.bbc.com/news/world-middle-east-38301629>

2. このオフィスは、「82人の市民が射殺された」といった、血なまぐさいことは言っていない。それが言っているのは、そのようなことが起こったという「わわさ」が含まれた「ニュース・ソース」がある、ということである。きょうの記者団への声明を引用すれば――

<http://www.ohchr.org/EN/NewsEvents/Pages/DisplayNews.aspx?NewsID=21022&LangID=E>

多くのニュース・ソースには、何十人もの市民がきのう、al-Kallaseh 近辺の al-Ahrar 広場や Bustan al-Qasr で、イラクの al-Nujabaa 武装集団といわれるものを含む、政府軍とその同盟軍によって射殺されたという、うわさが含まれている。

OHCHR が「多くのニュース・ソースに x x x のうわさが含まれている」ということを、そのソースを明かすことも、そのうわさと言われるものの出所を示すこともなしに、言明したことを捉えて、「国連は x x x が起こったと言った」と翻訳することはできない。

私は OHCHR が、その記者会見で、このような未確認の事柄を口にするだけでも無責任だと思う。しかしもっと無責任なのは、BBC が、このようなうわさについて、しかもその内容を調べることもなく、「国連は～と言っている」という見出しと書き出しを用いていることである。

BBC が、この問題で唯一の「フェイク・ニュース」機関であるわけではない。実際、ニュース機関は、すべてがあらゆるチャンネルを通じて、同じナンセンスを報道することによって、“みんなで渡れば怖くない”を実行しているようだ。

- \* ロイター：「アレッポはいつ落ちてもおかしくない、国連が市民の死亡者を報ずる」
- \* AFP：「シリア軍が最近数日で、少なくとも 82 人のアレッポ市民を殺害――国連」
- \* AP：「国連機関：数十人の子供が、シリアのアレッポで、燃える建物の中に閉じ込め

られる」

<https://www.yahoo.com/news/syrian-army-takes-over-aleppo-areas-quit-rebels-070433650.html?ref=gs>

<https://www.yahoo.com/news/syria-forces-kill-least-82-aleppo-civilians-recent-102513096.html?ref=gs>

<https://www.yahoo.com/news/un-agency-says-dozens-children-trapped-building-under-124757609.html?ref=gs>

繰り返すが、国連は、そのよううわさを知っていると言うだけで、それを確かめもせず、保証もしていない。にもかかわらず、「アムネスティ・インタナショナル」のような、通常は“人道主義的”な影響力をもつ活動でさえ、「国連は～と言った」という虚報に巻き込まれている。何千というニュース機関とウェブサイトが、フェイク・メディアの報道と“人道主義”機関からコピーし、彼らの解釈をさらに拡大して扇情的なものにしている。それは全面的なニセ情報の荒し場になる。[https://www.washingtonpost.com/world/un-warns-of-civilian-executions-as-pro-assad-forces-sweep-into-rebel-aleppo/2016/12/13/46267598-c0c3-11e6-a52b-a0a126eaf9f7\\_story.html](https://www.washingtonpost.com/world/un-warns-of-civilian-executions-as-pro-assad-forces-sweep-into-rebel-aleppo/2016/12/13/46267598-c0c3-11e6-a52b-a0a126eaf9f7_story.html)

## フェイク・ニュース警報：“中国がトランプの…に応じて核爆撃機を飛ばす”

いくつかの最近の、中国に関するフェイク・ニュースの見出しを、下に示す――

「中国が、トランプの台湾大統領との電話会談の前に、台湾周辺に核能力爆撃機を飛ばす」—Fox News, Dec. 5, 2016

「中国が、トランプの電話の前に、台湾近くに核能力爆撃機を飛ばす」—NBCNews, Dec. 6, 2016

「中国が、トランプ - 台湾電話の後で、南シナ海上に核爆撃機を飛ばす——米高官」—Fox News, Dec. 9, 2016

「中国が、南シナ海上に核爆撃機を飛ばし、ドナルド・トランプに“メッセージを送る”」—Independent, Dec. 11, 2016

「中国が、核能力爆撃機を飛ばして、トランプの台湾電話に応えたもよう」—Stars & Stripes, Dec. 12, 2016

「中国が、“無知な子供”のトランプに応じて、南シナ海上に核爆撃機を飛ばす」—Zero Hedge, Dec, 12, 2016

(出典リンク略)

上の見出しは、虚偽ニュースである。なぜなら、中国は現在、いかなる航空機搭載核弾頭も

配置していないからである。彼らがその種の核爆弾をもっているとは考えられていない。推定される 260 の核弾頭（米と露はそれぞれ 7,000 以上持っている）は、すべて陸上と海上基地のミサイル用であると推定される。

<https://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/>

中国は、近 - 中距離の、航空機搭載巡航ミサイルを、核武装可能な状態に改良しつつある。これまでのところ、米空軍は、こうした兵器が配置されているとは考えておらず、潜在的な敵戦力の一部としてリストに入っていない。

この事実に関連する通常の論文は、Hans M. Kristensen と Robert S. Norris による「中国の核戦力、2016」(pdf) で、Bulletin of Nuclear Scientists に掲載されている——

<http://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.1080/00963402.2016.1194054>

2016 年のペンタゴン報告には、中国の爆撃機の**潜在的な核の役割**についての議論が、初めて取り上げられている。それによると、人民解放軍空軍は 2012 年に“戦略的抑止”ミッションを与えられたが、それは同時に、改善された H-6K 爆撃機に搭載される、通常の陸上攻撃巡航ミサイルの導入を反映するものだ。しかし、このペンタゴン報告は、中国のメディア報道や論文は、「中国は**将来的には、核爆撃機能力を開発する可能性がある**ことを示唆している。」(米防衛省 2016、38)

我々は、中国の爆撃機が、現在、活動的な核ミッションをもっているとは考えていない。

中国は、何らかの中距離 Hongzha-6 爆撃機を、近海で飛ばすかもしれない。しかし、これらの飛行機は、1950 年代後半 (!) に開発されたロシア式のアップデート版である。飛行機操縦は軍事パイロットの仕事だ。しかしこれらの爆撃機は、核とはおよそ関係がなさそうである。これらの爆撃機に載せる“核”弾頭がなければ、“核能力”爆撃機に、どんな現実的意味があるだろうか？ アメリカが、それ用の核を供給するものと考えよというのか？

<http://freebeacon.com/national-security/china-deploys-new-bomber-with-long-range-land-attack-missile/>

フォックス・ニュースと NBC によれば、中国はこのような爆撃機を、11 月 25 日 (12 月 5, 6 日にも)、トランプの電話会談の**かなり前に**飛ばしたと言っている。中国はまた、トランプの台湾政府との電話会談の**後にも** (12 月 9 日) 爆撃機を飛ばした。実際、中国はこれらの爆撃機を定期的に飛ばしているのである。だからこれは、トランプの電話とは全く関係がないであろう。電話とこれらの飛行を関係づけるのは、馬鹿げた作り話である。

上に並べた新聞見出しはすべてナンセンスである。“核”など何の関係もなく、時代遅れの爆撃機が飛ぶことと、トランプの電話にも、何のつながりもない。これらは、我々の受け取る他のニュースのほとんどがそうであるように、フェイク・ニュースである。(終)